

展示構成案

テーマ

「北沢を中心とした、近代の鉱山運営に特化した展示」

A：展示室〔佐渡鉱山の始まりと終焉〕

佐渡鉱山の歴史の流れを総括的に解説する。
基本的にはパネル解説が多くなると思われる。

B：展示室〔近代鉱山の発展〕

佐渡鉱山を支えた近代技術の解説展示。現存している各施設を中心に、その仕組みや役割をわかりやすく解説する。
木型、図面等を展示する。

C：展示室〔昔の鉱山〕

古写真を展示し、昔の風景を感じてもらう。

D：ハンズオン・体験ルーム

ハンズオンや体験を通し、佐渡鉱山へ親しみや興味を持ってもらう。
金塊、銀塊のレプリカや、北沢浮遊選鉱場のミニチュアジオラマなど。
机やいすを配置し、ワークショップに活用できる環境を整える。

E：再現鉱山長室

古い建物であることを活かし、古写真を参考に鉱山長室の内装を再現する。

F：展示室〔保存整備活動の公開〕

今回の耐震工事の状況等を公開する。

G：展示室〔鉱山町の生活〕

鉱山祭等の鉱山町の生活・風俗についての展示。
古写真が主な展示資料になると思われる。

H：展示室〔相川の鉱山の位置関係〕

相川の鉱山のジオラマなどを作成し、位置関係をわかりやすく解説する。
また、鉱山地図なども展示する。

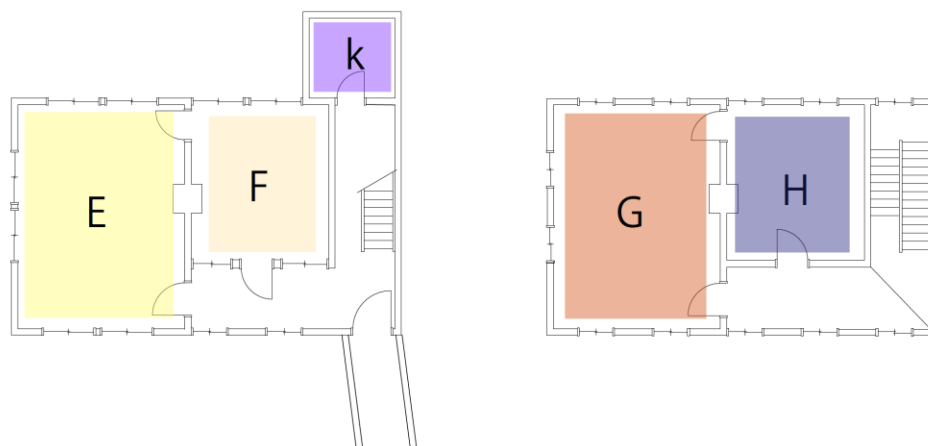
i：受付・事務室

j : 学芸員室

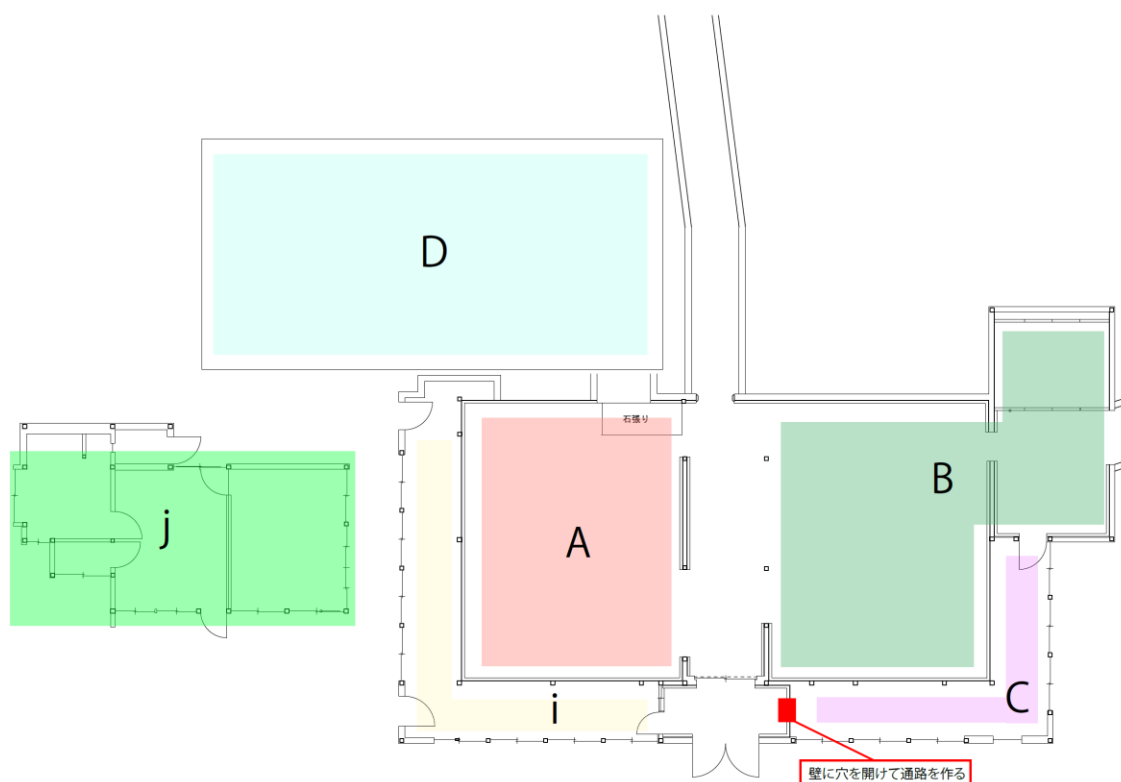
現状のとおり、学芸員室・展示準備室として活用する。

k : 不活用

旧トイレであるが、スペースも小さく間違っ使用される恐れもあるため不活用。活用するとしても、注意書きをし、公開するだけとする。



御料局佐渡支庁跡



旧鉱山事務所